

広報 おきたま病院

第9号
平成26年7月

各種
指定等

救命救急センター
地域がん診療連携拠点病院
災害拠点病院

第二種感染症指定医療機関
へき地医療拠点病院
臨床研修指定病院

エイズ治療拠点病院
地域医療支援病院



公立置賜総合病院



公立置賜長井病院



公立置賜南陽病院

目次

- p02 院長あいさつ
- p03 ふれあい看護体験
看護学生への修学資金制度
- p04 シリーズ健康講座・診療科紹介
がん治療等と口腔ケア
- p06 施設紹介
頭腹部血管撮影装置導入
- p07 お知らせ
- p08 公立置賜総合病院の
医師のご紹介

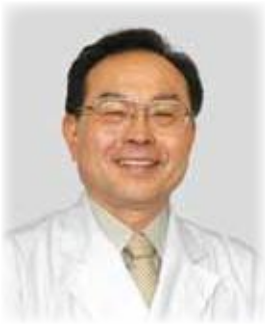
病院理念

心かよう信頼と安心の病院

運営方針

- 1 患者本位の医療を展開いたします。
- 2 高度・救急医療を提供いたします。
- 3 健全経営の確保に努めます。
- 4 人材を育成いたします。
- 5 地域連携の推進に努めます。
- 6 快適な療養環境を提供いたします。





「1年間のお礼」と 「ふれあい看護体験」について

置賜広域病院組合医療監
(兼)公立置賜総合病院院長

しぶ ま ひさし
洪 間 久

ご挨拶

昨年4月からお世話になりちょうど1年が過ぎました。皆様のご指導により、ようやく何とかこの地域の医療が見えてきたのではないかと考えております。本当にありがとうございます。

さて、この4月からアップになった消費税は、社会保障費に使われるとのことでしたが、年金、子育て、介護関係だけでも目いっぱいなかなか医療関係にまで回らないようです。高齢化社会を迎え、医療需要はますます高まっています。診療報酬の改定もありましたが、病院が質の高い医療を提供しても、それに見合った診療報酬が頂けるかというとなかなか厳しい現実です。特に救急医療、災害医療をはじめとする不採算部門を抱える公的医療機関は、これからの経営はさらに難しくなるようです。

しかしながら、置賜地域の基幹病院として私たちは、国が進める医療供給体制の再検討や在宅医療を見据えた地域連携の在り方について、この地域でしていくべきことをきめ細かく分析し、取り残されるというよりは地域でのリーダーシップをとって実行していかなければならないと思っています。山形県の医療計画や地域医療ビジョンに沿って、協力していただいている地域の病院は勿論、各自治体・地区医師会・介護福祉関係施設の方々との連携の重要性が増しております。患者さんを中心とした包括ケアをみんなで考えていかなければならないと思います。今後ともよろしく願いいたします。

ふれあい看護体験

日本看護協会は、今年の「看護週間」のメインテーマを「看護のこころをみんなの心に」として、様々なイベントを企画しました。当院でも5月16日に「ふれあい看護体験」として参加者を募集したところ、24名の高校生が来てくれました。全員が置賜管内の高校2年生と3年生で、将来は看護師を目指したいとのことでした。皆さんの笑顔と真剣な眼差しに、大いに期待を持ったところです。当院においても、看護師の確保が最重点課題となっております。この看護師さんの卵たちが大きく育って帰ってきてくれることを願っております。

皆さんからも、進学した大学や専門学校のある都会に出たままにならずに、「東洋のアルカディア」に戻ってきて身近な地域の人々との楽しい人生を勧めていただきたいと思っています。これからも皆さんの「おきたま病院」をよろしく願いいたします。



ふれあい看護体験

皆さん、フローレンス・ナイチンゲールという人をご存知でしょうか。

私たち看護師なら誰でも知っている看護の基礎を築いた人です。そのナイチンゲールの誕生日（5月12日）が「看護の日」に制定されたのは、今から20年以上前のことです。

21世紀の高齢社会は、看護の心、ケアの心、助け合いの心を私たち一人ひとりが分かち合う事が必要です。こうした心を誰でも育むきっかけとなるように全国のいろいろな病院等で、主に高校生を対象に「ふれあい看護体験」を実施しています。

当病院組合では、公立置賜総合病院（5月16日）、公立置賜南陽病院（5月13日）、公立置賜長井病院（5月14日）において、それぞれ実施しました。



公立置賜総合病院では24名の高校生が参加してくれました。当日は白衣を身にまとった「初々しい看護師」が9つの病棟に分かれて看護師の付き添いのもと、入院中の患者さんと話をしたり、手や足を洗ったり、車いすに乗ったりと看護師役や患者さん役を体験してもらいました。

高校2年生、3年生の方がほとんどで、医療に興味がある、看護師になりたい等参加動機は様々でしたが、患者さんから「気持ちよかった」「ありがとう」と言ってもらい「うれしかった」という声が聞かれました。

置賜地域は看護師がなかなか集まらないという問題を抱えています。将来、是非看護師になって私達と一緒に働いて欲しいと思っています。

今回の体験が、進路選択の手助けになれば、私達もうれしいかぎりです。

（看護部長 安部弘子）



看護学生への修学資金貸与制度が 平成27年4月からスタートします

卒業後、当病院組合へ就職を希望する看護学生へ修学資金を貸与し、学業の支援を行います。

- ① 看護師等養成施設に在学期間中、月額50,000円以内を無利子で貸与します。
- ② 卒業後、看護師等の免許を取得し、病院組合に勤務している期間は返還を猶予します。さらに、貸与を受けた期間の1.5倍以上勤務した場合は、返還を免除します。
- ③ お申込みの受付は、平成26年10月から平成27年4月までの期間を予定しています。お申込み多数の場合は、選考により決定させていただきます。

詳細は、7月下旬に看護師養成施設や市役所、町役場に募集パンフレットの配置をお願いするとともに、当院ホームページに掲載いたしますのでご覧ください。

在学中、または、進学を予定する学生、保護者の皆さんにおかれては、ぜひご検討いただきたくご案内申し上げます。



がん治療等と口腔ケア

歯科口腔外科 ● 小林 武仁



はじめに

近年、歯磨きやうがいなどを中心とした「口腔ケア」は、口腔感染症の予防・治療にとどまらず全身感染症の予防や、摂食・嚥下機能の改善に有用であり、その重要性については広く認識されつつあります。

また、がん治療や心臓・循環器手術、臓器移植などの手術では、口腔衛生状態が治療経過の予後を左右すると言っても過言ではありません。今回は、口腔衛生状態の悪化が治療に影響を及ぼすことについてお話します。

がん化学療法と口腔ケア

毎年、多くの方ががんに罹患しております。がんの治療方針には、手術や化学療法、放射線治療などが挙げられます。どの治療の際にも口腔ケアは必要ですが、特にクローズアップされているのが化学療法時です。

抗がん剤によって口腔粘膜に障害を起こす頻度は異なりますが、一般的にがん化学療法を受けた患者さんの40%が口腔合併症を発症するとの報告があります。また、一部の患者さんでは口腔粘膜炎のために、抗がん剤の投与スケジュールや投与量の変更を余議なくされることもあります。口腔粘膜障害の中では、口腔粘膜炎が最も多く、その他味覚障害や歯肉出血、口腔感染、口腔乾燥などがあります。



これらの口腔粘膜障害は直接的あるいは間接的に化学療法を進めていくうえでの障害になることは明らかで、治療前、治療中には口腔ケアによってできるだけ口腔内を良好な状態に保っていく必要があります。

こうげんびょう 膠原病

膠原病は、皮膚、粘膜、関節、内臓などの多臓器に慢性的な炎症を生じる自己免疫疾患です。代表的な疾患として関節リウマチ、全身性エリテマトーデスが知られています。膠原病における口腔ケアの必要性については、治療のために用いられる免疫抑制剤の副作用の対応や、歯周病を制御することによる膠原病の予防や病勢コントロールを目指す場合です。

歯周病局所から産制される^{*}サイトカインやタンパク分解酵素も関節リウマチの病態に関与している可能性が指摘されています。口腔ケアを積極的に行うことは、膠原病の活動性を制御しうる方法の一つになる可能性があります。

※サイトカイン／細胞から放出されて、免疫作用・抗腫瘍作用・抗ウイルス作用・細胞増殖や分化の調整作用を示すタンパク質の総称。



こつそしょうしょう
骨粗鬆症

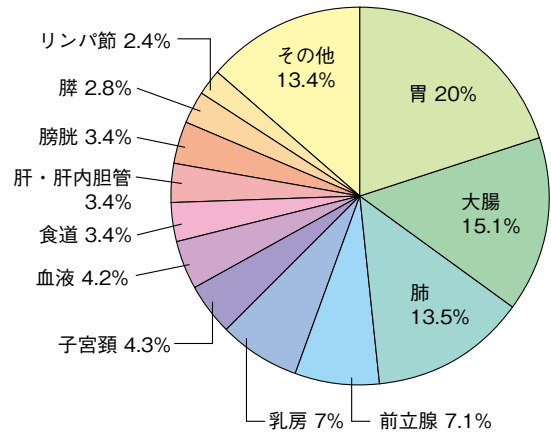
骨粗鬆症は、^す鬆が入ったように骨の中がスカスカになり軽微な外力により骨折が生じる疾患です。1990年以降、ビスフォスフォネート製剤の有用性が確立され骨粗鬆症の治療は大きく変わりました。その結果、世界各地で大腿骨近位部骨折の発生が減少傾向にあるとの報告がされています。しかしながらこのビスフォスフォネート製剤は副作用として顎骨壊死の関連性が指摘されています。顎骨壊死の本体は感染症であり口腔内の衛生管理の徹底が重要です。

むすびに

口腔衛生管理は、日常の歯磨きに加えかかりつけ医での歯石の除去、むし歯の治療、歯周病治療、義歯の管理などがとても大切です。

公立置賜総合病院では、地域のかかりつけ医の先生と連携して診療にあたっています。是非、なんでも相談できるようなかかりつけの先生をお持ちになることが必要です。

公立置賜総合病院 2012年院内がん登録症例数



| 胃 | 大腸 | 肺 | 前立腺 | 乳房 | 子宮頸 | 血液 |
|-----|-------|-------|------|----|------|------|
| 189 | 142 | 127 | 67 | 66 | 41 | 40 |
| 20% | 15.1% | 13.5% | 7.1% | 7% | 4.3% | 4.2% |

| 食道 | 肝・肝内胆管 | 膀胱 | 膵 | リンパ節 | その他 | 合計 (症例数) |
|------|--------|------|------|------|-------|-------------|
| 32 | 32 | 32 | 26 | 23 | 126 | 943 |
| 3.4% | 3.4% | 3.4% | 2.8% | 2.4% | 13.4% | 100% |

*院内がん登録の目的は、病院内の対がん活動の状況を把握し、がんの早期発見と治療、予後の向上に役立てること、ひいては地域レベル、国レベルのがん対策に寄与することにあります。

★手術を予定されている方へ★

当院では、治療開始前に歯科を受診しておくことをお勧めしています

お口の汚れは、肺炎の原因になる可能性があります。

全身麻酔の手術中は、口から喉のおく（気管の中）に人工呼吸器のチューブが入ります。

口の中の衛生状態が悪くと、口の細菌が気管の奥に押し込まれて、肺炎の原因になる可能性があります。

しっかり口から食事をとることは、術後の回復を早めます。

術後なるべく早くお口から食事を再開するには、あらかじめ口の中を良い状態に整えておくことが重要です。



最新鋭 頭腹部血管撮影装置導入



今年4月に、最新鋭の頭腹部血管撮影装置、ドイツ・シーメンス社製「Artis Zee BA（アーティス ジービーエー）」が稼働しました。この装置は、世界中の医療機関で採用され、高い評価を得ている装置です。全身各臓器の血管撮影と、血管内治療が可能で、低被ばくで高画質、そして治療に役立つ豊富な画像を表示できるという特徴を持っています。その透視・撮影画像・治療のための画像等を、60インチのラージモニターに映しだし、大画面で観察しながら、検査・治療を行っています。

現在当院では、当装置を用いて年間約200件の検査・治療を行っています。治療の多い部位は、腹部（特に肝臓）、四肢（手足の血管）となっています。

■ 血管造影検査とは

血管造影検査は、カテーテルと呼ばれる細い管を血管に挿入しカテーテルから造影剤を注入して目的部位の血管を描出する検査です。カテーテルを目的部位の近くまで進めることで、より詳細な血管像を得ることが可能となります。

血管造影検査の長所として、カテーテルを血管内に挿入する際には、皮膚への小さな切開で済むため、外科的手術のように皮膚を大きく切開する場合に比べて、身体への負担も少なく済ませることができます。

■ 低被ばく・高画質

新しい装置は、最新のフラットパネルディテクター

（FPD：Flat Panel Detector平面X線検出器）を搭載しており、放射線被ばく低減を十分に考慮した装置です。これにより、少ないX線量でも鮮明な画像で、造影検査・治療を行うことができます。

さらに、新しい機能として断層画像や3D画像の撮影も可能になり、複雑な血管走行を短時間で確実に把握でき、治療に特化した画像を表示できるようになりました。

■ 明るい検査室

検査室内は広く、明るい清潔感のある白を基調としています。また患者さまが音楽を聴きながらリラックスして頂き、検査・治療を受けていただけるように音響設備を整備しました。ご希望の音楽がありましたら是非スタッフにお伝えください。さらに、寝台（ベッド）には体に負担の少ない低反発マットをご用意しています。

■ むすびに

公立置賜総合病院は災害拠点病院となっていますので、緊急時に備えて検査・治療が行えるように、24時間365日いつでも使用できる頭腹部血管撮影装置（心臓カテーテル検査も可能）導入となりました。もちろん、スタッフも24時間対応しております。

この新しい装置によって、地域住民の皆さまがより安心・安全に生活して頂ける一助となれば幸いです。

（放射線部）

かかりつけ医を持ちましょう

●「かかりつけ医」って?

かかりつけ医とは、私たちの身近にいて**日常的な診療**や**健康管理**を行ってくれるお医者さんです。まず、かかりつけ医に受診することにより、比較的早く診察を受けることができます。

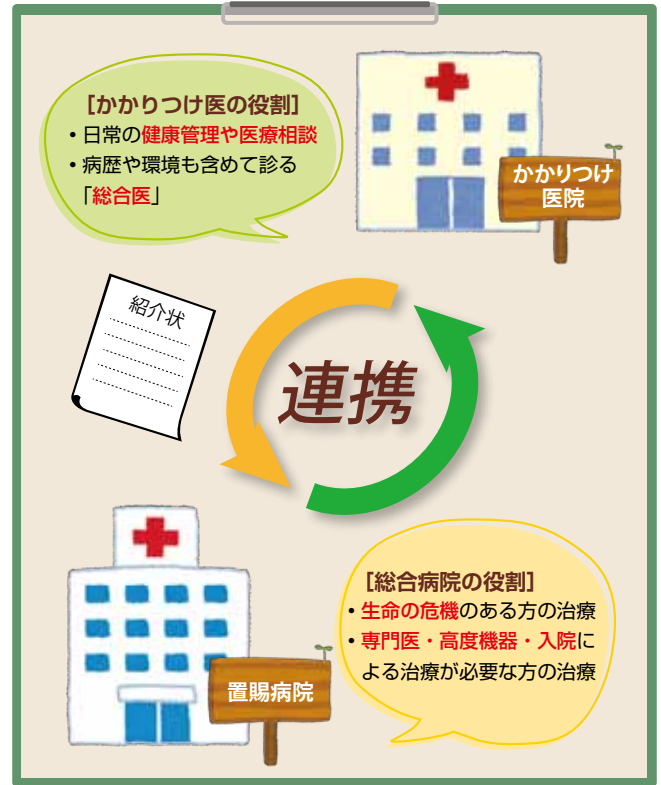
救命救急センターは重篤な状態の患者さんから優先して診療を行いますので、長時間お待ちいただく場合がございます。

●【紹介状】をお持ちください

かかりつけ医からの**紹介状**をお持ちいただきますと、今までの治療の経過を活かして当院の診療がスムーズに行えます。また、病院での検査や治療が終了したら、病院からかかりつけ医に治療経過を報告し、かかりつけ医での診療に役立てます。

なお、紹介状を持参せず来院された場合は「非紹介患者初診加算料」として1,620円をご負担いただいております。

医療の役割分担にご協力ください



「山形県救急電話相談」のご利用：毎日19時～22時の間

●発熱、頭痛、腹痛、めまい、吐き気など急な病気で医療機関を受診するか迷った時は、救急電話相談でアドバイスを受けることができます。

●協力医師の支援体制のもとに専門的な知識と経験を有する看護師が、医療機関への受診や家庭での対処方法についてアドバイスをを行っています。

ご利用ください

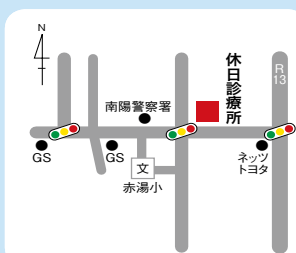
山形県救急電話相談 相談日●毎日 相談時間●19時～22時（3時間）

| | | | |
|-----------------|---------------------|-----------------|---------------------|
| 15歳未満 | 小児救急電話相談 | 15歳以上 | 大人の救急電話相談 |
| プッシュ回線・携帯電話 | #8000 | プッシュ回線・携帯電話 | #8500 |
| ダイヤル回線・IP電話・PHS | 023-633-0299 | ダイヤル回線・IP電話・PHS | 023-633-0799 |

近隣の休日診療所のご利用：日曜日、祝日の9時～17時の間

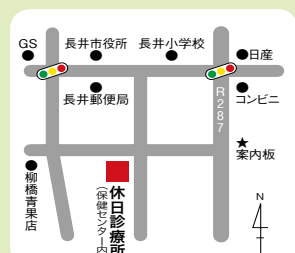
南陽東置賜休日診療所

診療日／日曜日・祝日
 診療時間／午前9時から午後5時まで
 診療科目／主に内科、小児科
 ※受診の際は、必ず保険証をご持参ください。
 南陽市柗塚420-7
 ☎0238-40-3456



長井西置賜休日診療所

診療日／日曜日・祝日
 診療時間／午前9時から午後5時まで
 診療科目／内科、小児科、外科
 ※受診の際は、必ず保険証をご持参ください。
 長井市保健センター内
 ☎0238-84-5799



地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

公立置賜総合病院の医師をご紹介します

平成26年7月1日現在

| 診療科・主な職名 | 氏名 |
|---|-------|
| 院長(兼)救命救急センター所長 | 洪間 久 |
| 副院長(兼)輸血部長(兼)医療安全部長(兼)人間ドック室長 | 佐藤 伸二 |
| 副院長(兼)医療情報部長(兼)手術部長 | 薄場 修 |
| 副院長(兼)診療部長(外科系四)(兼)診療部長(中央診療系)(兼)泌尿器科科長 | 久保田洋子 |
| 副院長(兼)診療部長(外科系二)(兼)放射線部長 | 金城 利彦 |
| 副院長(兼)診療部長(外科系六)(兼)リハビリテーション部長 | 林 雅弘 |
| 副院長(兼)医療連携部長(兼)呼吸器外科科長 | 山田 昌弘 |
| 診療部長(内科系一) | 齋藤 孝治 |
| 消化器内科科長(兼)内視鏡室長 | 渡辺晋一郎 |
| 消化器内科医長 | 武田 忠 |
| 消化器内科医長 | 大村 清成 |
| 消化器内科医長 | 安藤 嘉章 |
| 消化器内科医長 | 高野 潤 |
| 消化器内科医師 | 堀内 素平 |
| 消化器内科医師 | 渡邊 祐介 |
| 消化器内科医師 | 和田 佳子 |
| 消化器内科医師 | 勝見修一郎 |
| 消化器内科医師 | 小野里祐介 |
| 診療部長(内科系四)(兼)循環器内科科長 | 池野栄一郎 |
| 循環器内科医長(兼)臨床工学室長 | 山内 聡 |
| 循環器内科医長 | 北原 辰郎 |
| 循環器内科医長 | 新関 武史 |
| 循環器内科医長 | 石野 光則 |
| 診療部長(内科系三)(兼)内科(呼吸器)科長 | 稲毛 稔 |
| 内科(呼吸器)医長 | 平間 紀行 |
| 内科(呼吸器)医長 | 小坂 太祐 |
| 内科(呼吸器)医師 | 中野 寛之 |
| 内科(腎臓・透析)医長(兼)人工透析室長 | 星川 仁人 |
| 内科(腎臓・透析)医師 | 工藤 光介 |
| 内科(血液)科長 | 山本 雅一 |
| 診療部長(内科系二)(兼)内科(糖尿病・内分泌)科長 | 江口 英行 |
| 内科(糖尿病・内分泌)医師 | 伊藤 正裕 |
| 内科(糖尿病・内分泌)医師 | 安日 智 |
| 神経内科科長 | 栗村 正之 |
| 小児科科長 | 仙道 大 |
| 小児科医長 | 豊田健太郎 |
| 小児科医長 | 古山 政幸 |
| 精神科科長 | 赤羽 隆樹 |
| 精神科医長 | 鈴木 春芳 |
| 精神科医師 | 佐藤 洋三 |
| 精神科医師 | 埴 歆 |
| 救命救急センター長 | 岩谷 昭美 |
| 救命救急副センター長(兼)集中治療室長 | 佐藤 光弥 |
| 救命救急センター医長 | 松永 純 |
| 救命救急センター医長 | 久下 淳史 |

| 診療科・主な職名 | 氏名 |
|---------------------|-------|
| 診療部長(外科系一) | 小澤孝一郎 |
| 外科科長 | 東 敬之 |
| 外科医長 | 水谷 雅臣 |
| 外科医長 | 竹下 明子 |
| 外科医長 | 森谷 敏幸 |
| 外科医長 | 間瀬 健次 |
| 外科医師 | 横山 森良 |
| 外科医師 | 鈴木 武文 |
| 心臓血管外科科長 | 外山 秀司 |
| 整形外科科長 | 大楽 勝之 |
| 整形外科医長 | 松木 宏史 |
| 整形外科医長 | 渡邊 忠良 |
| 整形外科医長 | 山川 淳一 |
| 整形外科医師 | 岡田宗一郎 |
| 整形外科医師 | 赤羽 武 |
| 整形外科医師 | 結城 北斗 |
| 整形外科医師 | 和根崎碩大 |
| 脳神経外科科長 | 土谷 大輔 |
| 脳神経外科医師 | 渡辺 茂樹 |
| 診療部長(外科系五)(兼)産婦人科科長 | 手塚 尚広 |
| 産婦人科医長 | 高木 潤一 |
| 産婦人科医師 | 松尾 幸城 |
| 産婦人科医師 | 丸山 真弓 |
| 診療部長(外科系三) | 高村 浩 |
| 眼科科長 | 高橋 知美 |
| 耳鼻咽喉科科長 | 櫻井 真一 |
| 耳鼻咽喉科医長 | 和氣 貴祥 |
| 耳鼻咽喉科医師 | 川合 唯 |
| 泌尿器科医長 | 槻木 真明 |
| 泌尿器科医師 | 長浦 主税 |
| 歯科口腔外科科長 | 小林 武仁 |
| 歯科口腔外科歯科医師 | 助川 香織 |
| 歯科口腔外科歯科医師 | 瀬川 京 |
| 形成外科医師 | 菊地 憲明 |
| 形成外科医師 | 池山 有子 |
| 麻酔科科長 | 山口 勝也 |
| 麻酔科医長 | 那須 郁子 |
| 麻酔科医師 | 木村 相樹 |
| 放射線科科長 | 伊東 一志 |
| 放射線科医長 | 菅原 千智 |
| 放射線科医師 | 進藤 秀樹 |
| 臨床検査部長 | 布山 繁美 |
| 人間ドック室医師 | 藤岡 美穂 |

☆各科の曜日ごとの診療担当医師は当院ホームページに掲載しております。トップページ⇒「入院・外来等のご案内」⇒「外来担当医師一覧」

発行 置賜広域病院組合／公立置賜総合病院
編集 広報委員会(事務局:総務企画課 企画担当) ☎0238-46-5000

ホームページアドレス
<http://www.okitama-hp.or.jp/>